



発行所
 世界日報社
 東京都渋谷区宇田川町12番9号
 郵便番号 150
 電話 (03) 3476-3411
 郵便振替口座 東京7-40860番
 © 世界日報社 1992

平成4年(1992年) 9月17日(木曜日)

国際ハイウェイプロジェクト

4大陸をネットワーク化

「ジオテック92」に出展

国際ハイウェイプロジェクト・日韓トンネル研究会(会長・佐々保雄北海道大学名誉教授)が十六日から始まった第二回国際地下開発エンジニアリング展「ジオ

オテック92(主催・東京国際見本市協会)に出展し、内外関係者の話題を呼んでいる。日韓トンネルは、四大陸を高速交通システムでネットワーク化しようとい

う国際ハイウェイ構想の環境で、九州唐津から対馬を経て韓国・巨済島に至る大プロジェクト。現在、第二期工事で四百十キロの調査ルートが掘り進められ、第三期

工事のため地上設備の交換が行われている。

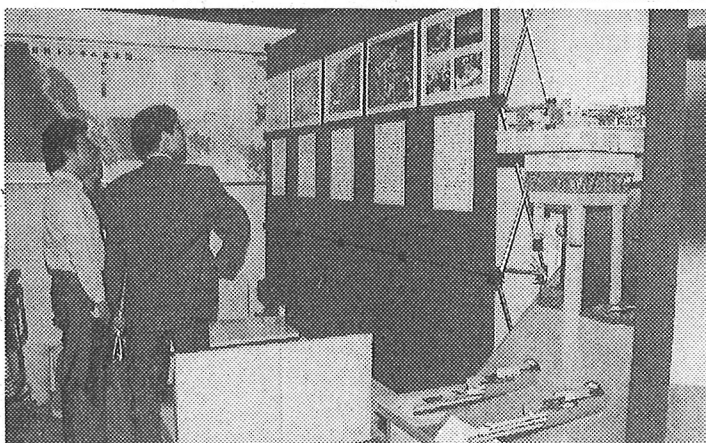
日韓トンネルのルート図や模型が展示された同研究会ブースの担当者は「見学に来られるのは韓国や在日大使館など外国の方が多い。このプロジェクトを知らない人もいるが、実際に掘っていることを知って驚く人もいる」と反響を語っていた。

同プロジェクトは一九八一年、韓国・ソウルで開催された「第十回科学の統一

に関する国際会議」で同会議の創設者・文鮮明師が提唱。翌八二年、東京で国際ハイウェイ建設事業団が設立され、九州北部や吉岐での地質調査を開始した。八三年には多くの専門家や有識者により日韓トンネル研究会が発足、これまで調査結果に基づいてルートの選定や施工法の検討などを行ってきた。

ジオテック92は、宇宙、海洋に次ぐ人類にとって第三のフロンティアといわれ

る地下空間開発利用のための最新技術、機械、資材を一堂に展示するもの。自然環境を守るため岩盤をくり抜いて作られたノルウェーのオリンピックスタジアムや、ビルをダイナマイトで爆破解体する技術なども展示されている。同展は、十五力国から約百の企業と東京郡が出展、十九日まで開催される。



ルート図や模型などが展示されている日韓トンネルのブース=16日、東京・晴海の国際見本市会場で